

## ブーンカウンティスクール学区のご家族と職員の皆さま

我々の各学校のリーダーたちは、この夏から秋にかけて、今学年度が可能な限りスムーズにまた効率的に運営するよう一生懸命働きかけてきました。10月は全国校長月間です。これを機会に、私たちの校長と学校管理者それぞれの努力と貢献に感謝の意を示しましょう。

私たちの生徒および他のケンタッキー州の生徒たちは、2021年春にケンタッキー総まとめテスト(KSA)を受けました。以前は、これらのテストをケンタッキー州教育進歩評価(K-PREP)と呼んでいました。このテストはケンタッキー州の教師によって作成され、各分野の内容は、ケンタッキー州教育基準を準拠しており、ケンタッキー州の公立高校の生徒3~8年生、10年生、11年生を対象にした年次総合評価の役割を果たします。今年は新型コロナウィルスと対面試験要件により、テストの参加水準は減少しました。このような至難と評価システムの変更により、過年度のデータと今年度の評価結果を直接比較することは非常に困難です。

全体的に、2020~2021年度に多くの課題や至難に遭遇したにも関わらず、我々の生徒とスタッフは好成績を収めました。学区全体および各学校の成績表は、次のリンク [KY School Report Cards](#) から確認して頂けます。現在、これらの評価結果を分析し、どのように改善できるかなどを検討しています。また同時に、生徒が好成績を収めた分野を明確にしたいと考えます。すべてのレベル(小学校、中学校、高校)に於いて、我々の学区のスコアは、州の平均スコアを上回っています。また、11年生の学区 ACT 総合指数スコアは、州内で15番目に高いスコアです。

私たちの学区の教師は、一般的な形成的評価を使用して生徒の学習状況を定期的に測定し、必要に応じて追加指導および支援を提供します。学区内の各学校では、CASEテスト評価を利用して、年に数回生徒のリーディングと数学の学習状況も測定しています。生徒の大半は、今月後半にCASEテストを受ける予定です。詳細は生徒が在籍する学校または担任の教師から連絡されます。

私たちは、スタッフと生徒の安全を維持することに引き続き力を注ぎ、毎日の対面指導を継続しています。ブーン郡内の新型コロナウィルスの発生率は、42.2件/人口10万人当たりまで減少し、高水準にあたる指数を維持しています。以下は、先週のおよそ20,000人の生徒に対する新型コロナウィルスの症例数と隔離数の要約です。

—10/1(金)までの週      生徒の症例数合計 94 件      生徒の隔離数合計 308 件

およそ4,000人の職員の中から、以下の件数が記録されました。

—10/1(金)までの週      職員の症例数合計 12 件      職員の隔離数合計 10 件、

10月4日の時点で、新型コロナウィルスの陽性が確認され感染者との接触があったことで自主隔離した生徒が Test-to-Stay プログラムによる新型コロナウィルス検査を受けたケースは966件でした。実施されたこれらの検査のうち、11件が新型コロナウィルスに対して陽性結果が確認されました。さらに、このプログラムにより自主隔離を必要とする生徒数が軽減されると

Update on 10/6/2021

思われます。この数週間にわたり、学区内の全ての学校で Test-to-Stay プログラムを提供する機能を築いてきました。来週火曜日からは、残りの学校でもこのプログラムを開始する予定です。

この週末を楽しくお過ごし下さい。

敬具

Matt Turner